

森田薬品工業は ハンドクリーム

福山市に拠点を置く医薬品製造の森田薬品工業(東京)が、福山市民病院に自社商品のハンドクリーム600本を寄贈した。新型コロナウイルスの感染を防ぐため、消毒の機会が増えて手荒れに悩む医療関係者に役立ててもらおう。

贈呈式で、同社の小林弘幸管理部長が市病院事業管理者の高倉範尚医師に目録を手渡し、感謝状を受け取った。小林管理部長は「最前線で闘う医療者の役に立てたらうれしい」。高倉医

師は「現場のスタッフが喜ぶ」と感謝した。

同病院では感染防止のため、看護師は1日15回ほど手を消毒するという。クリームを手になじませた小坂奈保子看護部長は「しっかりととして心地が良い。匂いに敏感な患者もいるため、無臭であるのもありがたい」と話した。



森田薬品工業

ハンドクリーム「匠乃手心」 消毒剤による手荒れ防止に一役 福山市民病院に600本寄贈

誕生50周年を迎える「タチカワ電解カルシウム」第3類医薬品などの医薬品・医薬部外品の製造販売や栄養補助食品・基礎化粧品の販売を営む森田薬品工業(株) (本社・東京都、福山事業所 福山市大門町野々浜1059、竹内良知社長、電話084・943・9900、

<http://moritayakuhin.co.jp/>)は5月20日、福山市民病院(高倉範尚事業管理者)の医療従事者へ向け、職人用ハンドクリーム「匠乃手心(たくみのてころ)」(60g入り、1200円)600本を寄贈した。

同社の小林弘幸取締役管理部長(64)から高倉事業管理者(72)に目録が手渡され、右が高倉事業管理者、高倉事業管理者からは同社へ感謝状が贈られた。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に合わせ、広島県東部唯一の感染症指定医療機関である同病院では手指を消毒するための洗剤や消毒液の消費量が増加。同時に、手肌の荒れに悩みつつも、通常のハンドクリームでは「匂い」が気になつて使いたくないという声もあり対応に苦慮していたところだという。そこで同社は、医薬品事業者としてこの状況に少しでも役に立てればと考え、開発した高品質ハンドクリームを寄

附することにした。

19年2月から売り出した匠乃手心は、土木建築や屋外作業などの現場で酷使されやすい職人の「手」を守るために開発した。高級化粧品などに使われるサクラン(ヒアルロン酸の6倍の保湿力)などを配合しており、速乾性で、作業前に塗ってもべとつかず手が滑りにくい▽水仕事をしていても潤いが長持ちする▽作業時の摩擦や汚れから保護される▽無香料・無着色でシーンを気にせず使える、といった特長があるという。実際に寄贈した匠乃手心を手につけた看護師からは「匂いは感じず、さらっとしっとりしていて手がすべすべになる」と好評だった。

匠乃手心は、備後・岡山県内では、ホームセンター「プロショップHODAKA(ホダカ)福山店」(福山市曙町)等で販売。「一般家庭でも消毒や手洗いの励行で肌手荒れに悩む声も多いことから、手のケアに役立ててもらえればと話している。